

# 市営交通だから出来るんです!



「誰でも、どこへでも、安全、快適、自由に移動する」ことができる権利を「交通権」と言います。橋下市長が赤バスの廃止や市バスの不採算路線を廃止したため、大都市大阪市の少なくない市民が「交通難民」に……。 「公共の福祉を増進」が目的(地方公営企業法第3条)の市営交通だからこそ出来ることがいっぱいです。利益を大阪市へ納入・還元することもできます。

## バス事業を支援して、「交通難民」は生まない

市バスの運営は、黒字の地下鉄と一体で行えば、路線の復活や充実、コミュニティバスの復活で「交通難民」を生まない大阪市の実現が可能です。



「タクシー使って病院、医者代より高い」



「買い物行けない」

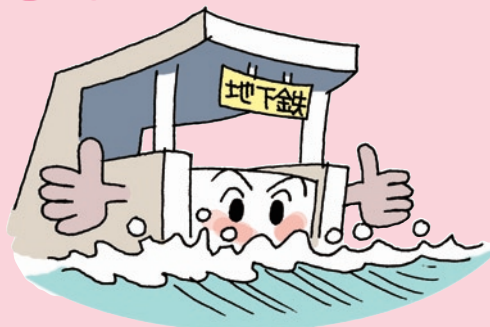


「路線バスが1時間に1本…、乗客減らして不採算で廃止なの?」

市民の足だ



## 災害から命を守り、交通弱者の犠牲を出さない



必ずやってくる地震・津波への備えに1100億円の費用が必要です。

ホームからの転落事故防止(稼働柵設置)など、市民・乗客の安全は、儲け優先でない市営交通の責任です。

## 交通局長がやりたい放題

「民営化」推進で橋下市長に抜擢された藤本交通局長の乱行ぶりが目に余ります。随意契約の9割が不適切と判明、知人の会社への弁償目的で「契約書を偽造」し、800万円の公金を支出するなどやりたい放題。「民営化」の行き着く先は自明です。



### 橋下語録



「早く、早く、カジノやって」

「いきなりお役所が税金で手突っ込むんじゃなくて、一回カジノで使わせて、そこから巻き上げてしまえばいい」



(2012年1月4日、市長定例記者会見)